

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：小児内視鏡外科トレーニングにおける視覚と聴覚のシナジー効果:術中音声動画学習に与える効果分析

1. 研究の対象

2025 年 4 月～2028 年 3 月の期間に実施された腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術(16 歳未満)に参加した医師・看護師

2. 研究期間

研究実施許可日 (変更申請後は初回承認日記載) ～2028 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日は以下の通りです。
利用開始(予定)日：2025 年 4 月 1 日

4. 研究目的

外科医が手術スキルを磨く上で、時間外修練の重要性は非常に高いと言われています。その修練の方法の一つとして近年、手術動画を用いた学習が注目を集めています。手術動画学習は自身の執刀した手術の復習のみでなく、他者が執刀した手術を前もって学習し、自身の執刀前に解剖学的知識や手術手技の理解を深めることができます。一方で動画に術中音声の録音がない場合は情報量が少なく、視聴中の集中力や視聴意欲そのものが低下してしまう可能性があります。術中音声を含む手術動画は、映像のみの場合と比較して、その豊富な情報量から高い学習効果が期待できますが、実際の効果や詳細なメカニズムは現在のところ明らかになっていません。

そこで本研究は視線追跡システムを用いて、術中音声の有無が手術動画視聴時の学習効果にどのような影響を与えるかを詳細に検証することを目的とします。

5. 研究方法

2025 年 4 月以降に実施された腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術のビデオを抽出し、卒後 15 年未満の若手小児外科医に手術ビデオを視聴させます。ビデオは術中音声ありの場合と、なしの場合それぞれを視聴させ、動画視聴時に、視線追跡システムを利用することで、外科医の視線の動きや、注視についての情報を収集します。また動画は自己の執刀した手術動画に加えて、他者(上級者)の執刀した手術動画についても同様に視聴させ評価します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術の動画・音声

対象となる小児外科医の卒後年数

視線情報:注視時間の総計、視線の素早い動き開始までの時間、回数など

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

該当なし

医師・看護師用

9. 研究組織

本学単独研究

筑波大学附属病院小児外科 後藤悠大

筑波大学附属病院小児外科 産本陽平

筑波大学医学医療系小児外科 増本幸二

10. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は小児外科の保有する運営交付金です。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

11. 本研究への参加を希望されない場合

対象となる医師や看護師が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

12. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて本人にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象となる医師・看護師に不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：筑波大学附属病院 小児外科 産本陽平

住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1

連絡先：TEL: 029-853-3094、FAX: 029-853-3091

対応可能時間：平日 9～17時

研究責任者：筑波大学附属病院 小児外科 後藤悠大